



褒め褒め月間

ボクが赤ちやんだったとき
オツパイ飲ませてくれたのママだよ
ね おむつを換えてくれたのもママ
でも
パパのときがあったでしょ？
どうしてわかるか教えてあげる
ママはいつでも
あま〜い甘いオツパイのにおい
パパにはパパのにおいがした
そして
ママのお胸は優しくて
だっこされると安心したし
パパのおひざは大きくて
とっても楽しんだったもの
だから
夜泣きしてもぐずずしても
ママとパパが居るだけで
ふあ〜と力が抜けて来て
ほっぺが弛んでお口から
オツパイこぼしたことがあったでしょ

おかげでボクは今2歳
たまに失敗するけれど

おむつを外して遊びたい
自分でパンツをはいてみたい
お皿も茶碗も運びたい
お箸を使って食べてみたい
掃除機 雑巾使いたい
お出掛けするなら靴だつて
自分で履いて褒められたい

何でもやりたい試したい
うまくいかない時もある
それでも思うよ心の中で
どつだ やったよす〜いでしょ
その時ボクが待っている言葉
えらいねす〜いねびつくりしたよ

お日様笑顔のパパとママ
それでボクの心には
失敗したつてくじけない
元氣と勇氣が湧いてくる
その上ギューと抱きしめられて
愛つて何がわかつてくるの
よ〜し見ててねボクだつて
ママのように優しくて
パパのようにたくましい
そういう大人になつてやる

お子たちは皆このように日々の育ちを積み重ねて、うめ組になり、もも組になり、さくら組になって4月には、小学校へと翔いて行くのです。
新しい育ちの芽生えと、芽吹きに気付いて認めてあげる。
これが「出来た」ことを讃えるのではなく「変わった」ことを認める「ほめる」ことそのものなのです。

松の実恒例、褒め褒め月間の3月です。この1年を振り返り、お子と共に過ごして嬉しかったこと、楽しかったこと、優しくできたことや感動したことをもう一度、思い起こしてみたいかががでしょうか。
そして、それを感じたままに言葉にして伝え、褒めてあげていただきたいのです。

良い思い出は心の免疫力を育みます。
良い思い出は次へつながる夢です。希望です。

大きな夢とたくさんの希望を抱いて、子どもたち夫々が、新しい世界へと翔いてくれるに違い無いと信じて、幸せな年度締めくくりの3月を迎えます。

そして次に迎える新年度も

おいしいごはん 体のえいよう
ママのギューは 心のえいよう ですね

※これは家族の絆をうたった詩の全国コンクール小学生部門で早寝早起き朝ごはん全国協議会々長賞を受賞した、田上町の小学三年生長吉 風凜さんの作品です。